

(仮称) 東通村農産物加工施設建設工事 安全祈願祭

8月25日(火)、建設工事場所(旧北部中学校グラウンド)において、『(仮称)東通村農産物加工施設建設工事』安全祈願祭が執り行われました。

本施設は、現在の東通村加工製品試作・研究棟について、施設及び加工機器の老朽化が著しく、早急な改善が必要となっていたため、新たな農産物加工施設として建設するものであり、最新型の加工機器を導入して合理的な製造工程を構築するとともに、厳格な衛生管理工程を追求した施設として計画しています。

また、非常用発電設備を備えており、大規模複合災害時における防災拠点施設としても活用することとしています。

安全祈願祭では、越善靖夫村長より「本施設の建設により、安全・高品質な東通村特産品としてブランド化を図り、消費者から選ばれるよう、



鍬入を行う越善村長

自信を持って供給出来る加工体制を構築し、農家所得の向上に繋げて参ります。工事の施工には相当の期間を有しますが、安全と優れた技術の結集をもって万全を期していただき、一日も早く竣工されますことをお願い申し上げます」との挨拶がありました。

安全祈願祭には、越善村長をはじめ、村議会議員、施工業者など約25名が参列し、工事の安全成就を祈願しました。

戦争の悲しみを忘れず、恒久平和を願う

～ 令和2年度東通村戦没者追悼式 ～



慰霊碑に敬慕の眼差しを向ける越善村長

終戦から75年目を迎え、第67回東通村戦没者追悼式が9月3日、村体育館山手に建立されている戦没者慰霊碑前で厳かに行われました。

追悼式は先の大戦で犠牲となった、二百余柱の戦死者の英霊を追悼するとともに、併せて、世界の恒久平和を願い行っているものです。

式典では、参列者全員で黙祷を捧げた後、越善靖夫村長、丹内俊範村議会議員長の追悼のことが、小林義明村遺族会長が、「戦争によって最愛の肉親を失った遺族にとって、癒されることのない悲しみは、言葉では語り尽くせないほど、深くつらいも



小林村遺族会長の献花



丹内村議会議員長の追悼のことは

のでした。再び悲惨な戦禍を繰り返すことなく、世界の平和、命の大切さをしっかりと後世に受け継いでいくため、たゆまぬ努力を続けますことを遺族一同ここにお願い申し上げます。」と追悼のことは述べました。

このあと、参列者一人一人が二百余柱の英霊に白菊の献花を行い戦没者の冥福を祈り、平和を誓いました。